### うしく里山の会 広報誌

No.89

2010年7月号

### NPO法人 うしく里山の

TEL 029-874-6600 FAX 029-874-6812 E-mail u\_satoyama@infoseek.jp HP http://u-satoyama.web.infoseek.co.jp/



市内小学校の児童たちにアヤメ園の水生動物を説明 みな真剣に耳を傾けています

撮影 坂 10.6.7

晴天が続きました。 なかなか、 四月の天候に恵まれなかったのがうそのように、 お蔭様で、

し始めました。 僕が、 初めてうしくあやめ園を見たのは、 あやめ・花菖蒲と一斉に成長 まだ小 さい

うしくアヤメ園の

やめ受託事業

尾報

直 樹

> したとのことです。 聞くところによると、

父親に連れられてザリガニ釣りやバス釣

なかなか、

身近に

うしくあやめ園は、

昭和六十年に開園

りに来た時、ちょこっと立ち寄った程度。

告

すが、 業の大切さを改めて感じられ感慨一入です。これからは、 晴らしい。 清清しさも感じますが、 め達の成長のためには欠かせない作業です。炎天下の作業は、 が茫々。 雑草との追いかけっこです。 きることを知り、 ありすぎて目を向けることが少なかったように思えます。 菖蒲も見ごろを迎えますが、楽しみですね。 た。 ま でも、先日、 二十数年の時が過ぎて、 た、近隣の学校の子供たちが、あやめ園の植生を題 当初は、 いやはや、 あっちをきれいにするとこっちが茫々。 落ち着いた紫色の花が何とも言えません。 あやめの花々が見頃を迎えました。 どんな仕事なのかも分からぬまま入った訳で これがまた大変な作業でした。今の時期は、 この春からお手伝いさせて頂く事となりま なかなか、大変な仕事です。 あやめ園の管理業務をお手伝 こっちをきれいにするとあっ でも、 ١J らは、花の作 ゃ 材に いで 素 ち

ても残念なことではありますが。 えもしませんでした。 声を見聞きすると、 勉強に訪れることもあるようで、『おたまじゃくしぃ!』 改めて感じることも出来ます。 『めだかぁ!』と泥んこになりながらの子供たちの無邪気な やめ園にこんなにも幅広い人たちが関わっているとは、 の方々です。来場する方は、 姿も見ることが出来ます。 共に、作業をしている方々は、 藤の花や水連。 豊かな自然環境を維持できていることを ま た、 僕の年代の人たちの姿が少ないのがと カルガモやセッカ、 子供から大人まで。 アヤメの他、 僕の親と同じかそれより年 アジサイやツツ 螻蛄 この狭い (ケラ) ゃ 考





簡

晶子

## 診断グルー

生命力を感じました。

調査であった下根町愛宕神社のヤマザクラの診断を き具合もチェックします。 や根元の周りをメジャーで測定し、キノコや虫のつ ら始まり、 クしていきます。 目視による樹木全体のチェックか んの説明を聞きながら、診断カルテの項目をチェッ ていた一本です。 行いました。 平成二十二年五月二日、 木槌を使っての打音診断、 昨年十四本の診断を終了し、 いつものように、 診断 グルー プは 昨年 度未 樹木医の猪野さ そして幹周り 最後に残っ

この日のヤマザクラは隣接するエノキの大木に光

が始まると、 と光・水・土との関係など、 ても興味深く、 心も高まっているところでしたから、 の巨木リサー するお話をしていただく機会がありました。 打ち合わせの際、 でないと判断されました。 ランスをくずしており、全体的には健康状況は十分 は緑の葉を茂らせていました。 しかし見た目にもバ たものの、 を遮られ、三本に分岐した中央の幹は枯れてしまっ さて、 昨年度診断活動を始めるにあたっ 一方向に光を求めて伸びていった枝々に チ活動を続けてきて、 新鮮な驚きでいっぱいでした。 ちいち納得することばかりでした。 猪野さんから樹木やその診断に関 その後実際に診断活動 樹木に対する関 その内容はと Ţ

打たれるものがあります。

樹木がその存続

のために光を求める一途さには

また幹の部分に目視で 打音診断で内部の

> した状態でも、 しながら、どうにか生き続けようとする樹木の強 面が見受けられます。自分で懸命にバランスを調 空洞化がわかっ どこかー た場合、 部で生存を維持している つまり幹の相当部分が枯 い整

月を経て、 する樹木の生きる力に感心させられます。 に子孫を繁栄させるために、それぞれの方法で奮闘 状況になっても、なんとかそこで生き延びて、 今回診断対象となった十五本の樹木が、 与えられた土地の環境が、 たとえどんなに厳し さらに さ l١

ていきたいものです。 どのように変化を遂げていくのかを見守っ



下根町愛宕神社のヤマザクラの診断場景

戸塚 10.5.2



# 羽畳 Eláチーム街路樹20 受託事業報告

羽賀 正雄

# 香取市佐原地区の街路景観など見学記

たちられて、とは別別に引きると思うなどである。 三台に分乗し水生植物園に向かう。 本さんから日程、配車などについて説明を受け、車分、市役所に集合。参加者十二名。曇天。担当の松併せて水生植物園・香取神社を探索した。八時二〇目の研修会で、佐原地区の「小野川沿いの街路景観」「八月五日(土)。四月の松戸地区に続く本年度二回

わ 声が聞こえる。シャッター音が響く。園内を見渡すに広がる黄色の花々が目に入る。「アサザだ」との よ」と応ず。その時一転にわかに・・・雷雨に見舞 の雰囲気に変な感じ」、 く歩くとポプラが並んでいる。すかさずKさん「こ 名立札の前で、しばしアヤメ管理論が続く。しばら Mさんらが薀蓄を語る。 ウブの見分け方は・・・」とアヤメ園担当のN、S、 花「これアヤメじゃない?」との問に「アヤメとショ で三分咲きといったところ。 と池の周辺にハナショウブが見えるが、花はまばら れる。慌てて入口の店屋で雨宿りする。待つこと 時、やや小降りになり香取神宮に向かう。 渋滞も無く水生植物園に到着。 Hさんが「やはりヤナギだ 黒マルチングや焼き杉の品 散策路に鮮やかな紫の 入場すると先ず池

る。していないのは、神明(しんめい)鳥居という」 式は明神鳥居で、下段の貫(ぬき)が柱を貫通してい が立っている。 拝殿に向かう。 「と共に荘厳な美を感じる。 三本杉も風雨・落雷の厳しさ、それらを凌ぐ生命 き神武につながる歴史を演出する。 樹齢千余年、幹周約七・四mとある。 神のご利益か、香取神宮に着くとやや陽がさして 歓迎アーチ、土産店を抜けると朱塗の大鳥居 拝殿は朱塗から一転して黒塗、桧皮 緑滴る参道を進み総門、楼門を通り 鳥居に造詣深いIさんから「この形 周囲をスギの巨樹が取 右側の御神木 左側本殿横

空はますます青くなる。を味わう。腹も満たされ本日のハイライトへ向かう。栄亀庵、屋外席で待つこと小一時間、神の悠久の時沢。とのTさんの観察に相槌を打つ。昼食はそば処力を表す。「杉の梢端、枯れも見えず以外に若々し

ともいわれる」との説明に納得する。両岸に並ぶ古 今なお三代・四代目・・と商売が続けられているこ 時代の河川・水運の役割、 がっちり構えた重厚な木造建築群を目にすると江戸 伸びている。 が横に張らず川面に枝垂れるので、強剪定されずに い店々に街路樹のシダレヤナギが風情を添える。 の農業用水路で、あふれる水音からジャー ジャー橋 の人々、見ると「樋橋」とある。Oさんの「かつて の見事な木造建物。 とに感動する。 に記念館の新築トイレ(厠)が目に付く。 伊能忠敬記念館から小野川街路探索を開始 川とヤナギ、定番には何か意味がある。 散策路へ出ると木橋の傍に大勢 往時の隆盛が目に浮かぶ。 木組み方式 直ぐ 枝

を土産に、予定通り四時過ぎに出発地に戻る。 三所三様・三樹(ポプラ、スギ、ヤナギ)の諸体験



街路樹シダレヤナギのスギ板。 根元に植栽のウイキョウの解説。 街路の憩い。責任者?。(羽賀)

でしょう。



叔子農業体験講座

一般参加者 金子 喜

知 子

## ミミズがたくさんいるよ

治も行います。 今年度、初めて農業体験講座に参加させていただっ年度、初めて農業体験講座に参加させていたがらです。様せででんとうむします。この作業をしないと小さなジャガいています。今回は四回目の講座、ジャガイモの芽いています。

した。
した。
した。
した。
とすらこれまで知りませんでのような作業があることすらこれまで知りませんでした。これで立ち会ったことは何度かありますが、種芋植の参加でこの工程です。私の祖父も農家でしたので、の場に並べ、間に肥料を入れ土をかけました。そ等間隔に並べ、間に肥料を入れ土をかけました。そこれまでの講座では畝を作り、種芋に灰をつけ、

験をしているということは忘れているの ています。 にしても集めすぎです。 スとはいっ たいどんなレースなのでしょうか?それ から掘れば掘っただけミミズが出現します。 の当たりにしています・・・。 こだ?なんとミミズ集めに夢中です。ここは畑です 他の作物は作られているということを親子共々目 今年の農業体験、これらの工程を経てジャガイモ 「ミミズレースを開催する」との事。 満足げ な顔、 おそらく農業体 握る手から溢れ おや、 子供たちはど 長男日

農業体験 メージは 際座のイ の親子

て育て、 を苦労し 緒に作物 親子一

たいなも 喜び」み のでした。 収穫する

みんなで草取り

作物作り ところが

に夢中な

がわけば「遊び」として参加します。いったん面 ぶ」ことです。もちろん、作物作りの工程に興味 のは親ばかりで、 ちろん芋に灰をつけることで何が起きるのかは理 に切られた種芋に黙々と灰をつけ続けておりまし 講座の際、 白いと思った作業はとことんやります。 していません。 灰つけ職人、といったところでしょうか。 長女は鼻の頭を真っ白くしながら半分 子供たちは遊ぶことで農業に参 子供たちが夢中なのは 第一回の 畑で遊 も

変化を子供たちと肌で感じながら 一変わります。 出会う虫や花々の これから収穫まで季節はどんど

ているのですね。

自然に触れていきたいと思います。



丸 本 久

### 森の畑一年

なり、 ζ んの応募が有りました。先着十二名を採用させて頂 同然でしたので、隊長の奥さんにも時々出席して頂 ネーミングでスタートしました。 昨年の三月に雑木林応援隊、 四月より、隊長以下十六名で「森の畑」という 指導を受けながら始めました。 市の公報で隊員の一般公募をした所、 畑隊の隊員が四名と ほぼ全員が素人 たくさ

収穫した野菜の料理の仕方等情報交換していました。 行灯を丈夫な肥料袋に変えました。収穫は、絹さや、 立てにした所、鳥に全滅にされました。 スナップえんどう等。皆さん少しずつ慣れてきて、 ゴーヤ等)をしました。一回目は、 皆初めての体験で大変喜んでいました。 四月 五月 夏野菜の植え付け(胡瓜、 ほうれん草、春菊、大根等の種蒔き。 からし菜等、特にムジナの里での筍掘りは、 ジャガ芋、 里芋の植え付けを中心に、 茄子、 レジ袋で行灯仕 植え直しは 収穫葉、 トマト、 小

追肥 ガ 芋、 も多かったです。 草取り等、 多い月でした。 野菜等、収穫の 八月 この月 空豆、 土寄せ、 七月ジャ 作業

人参等の ロット、 根 ジャガ芋、 ました。 法 か を指導 護院大 て 頂 き 5 エシャ の

雑木林応援隊・畑隊のメンバー

収穫は、 した。 大量収穫 が 夏野菜の 種 詩き、 出 来ま

本さん五ヶ月間有り難うございました。

としてて月に 結束の昔

立派に育った「さつまいも」 度来て頂く事に んの二人が講師 嶋さんと塚本さ 結束の高

の土作り等の指導をして頂きました。 蒔きを指導して頂きました。 ーレタス等の種蒔きを指導して頂きました。 九月 十一・十二月 空き地の手入れ、 大根、 夏野菜の整理、春菊、 玉葱、 水菜、 野沢菜等、 ほうれん草、 春野菜に備えて 高嶋さん、 冬野菜の 塚 サ 種

るので午後一時三十分から三時までの活動にしまし (大根、人参、 | | 三月 茸の菌打ち、春野菜の種蒔きなど。収穫は大根 サニーレタス、蕗の薹等。 ご苦労様でした。 冬野菜は、 里芋、ほうれん草、 今までに無く順調な収 水菜等) 畑が凍 穫

隊と合計十五名でスタートしております。 今年の四月より、 昨年のメンバーが九名残り、 畑



## 坂根

今回は三回目となる。 ける草本植物相が調査対象で月一回の実施を計画 基づき、A~Gの七区間に区切られる。 院前駐車場に集合。 トは市街地・草地・林縁・水田など景観タイプに 楕円状に廻るコー スで、 こ、足早に調査ルートに入る。 六月八日 (火)、 朝九時、 参加者は五名。 全長二・五㎞に及ぶ。 調査基点である得月 ルートは城中町を 挨拶もそこそ 里地にお ルー 上り坂となる。ユキノシタが花茎を立てている。

られる草本の種名を記録するというもので、 調査は、蕾・花・実(胞子)の有性生殖器官の見 ジラミ ( 実 ) 、やフタリシズカ ( 花 ) が見られた。 斉に筒状の長い花冠を立ち上げている。 あろう。日当りのよい斜面ではタツナミソウが 実感できるのも、調査に参加する利得のひとつで と前月の種名リストとは隔たりが生じる。 打って変わって、 A区間である。 る部類の草々が貧相な小さな花を目立たぬよう た花の先端はなぜかみんな同じ方向を向いてい かに移ろっている様が季節を待たずに、 先ずは林縁斜面のある緩やかな下り道といっ C区間は城中集落内の道端である。 区間は竹林・森林内の小道をたどる。 春先の野の花いっぱいの景観とは 草刈など管理との攻防の故か種類 この六月見るべきものは少ない。 雑草といわ 唇形に開 月毎に 時が速 ヤブ 自ず た

近い。 実態は下草まで刈り取られていて、 で思わぬ草本に出会える適地の期待感があったが、 事業で、 D区間は、 ともかくも枯葉に埋もれたキンランの 森林の間伐が進み、 牛久城址内である。 明るさが増したの ここは近々の整 草本は皆無に

を目ざとく見つけた一員に拍手。 E区間は丘陵下の牛久沼に続く低地で、

づく事のないまれな草本である。 部であろうか、 他に水田の畦に入り湿地の草本を調査。 ロウスゲの叢生を見つけ、その上品な花穂の群 感嘆する。 この時期でないと、 ガマ原と化した田畦付近に、 ほとんどそれと気 放棄田の 道沿 ジョウ がり いの

である。 G区間は得月院裏手を取り巻く小道でなだらかな 区間は市街地舗装道路沿いで、上り坂林縁斜面 が日陰のせいか目立つ草本はない。

三十四名。

参加者の年代は六十歳、

七十

が多く、

内男子は四~五名。

時間半の

活 台

動 の

で 方 勢

しているのが印象に残る。 ところでドクダミが、 らについた白花が可憐である。 全区間三時間半にわたる調査であったが、 白い苞を広げ、 花穂の灯を点 い たる



耕作放棄水田に群生するジョウロウスゲ 坂根 10.6.8

### 然 観 察 H 前 講 座

塚

雄

# 公園樹木へのプレー ト付けに参加して

石神園長のお手伝いとして参加しました。 当日は晴天で真夏の暑さでしたが参加者 去る六月四日 (金)午後に行われた出 前 ば 講 総 座

に

した。 するつつじが丘団地 (行政区)の「ふれ 今回の出前先は牛久市の西端、 講座内容は樹木観察と公園樹木への樹名 あ 市 サ 口接

疎

ら、これ何の木?と疑問のままでいたものもあり、 り位置や高さを相談しながらの取り付け作業を実 が取り付けの要領を説明、 はスギの木っ端を利用したもの。 トと結びつける鉄線は石神園長が用意。 木にプレート二十枚ほどを設置しました。 (プレート) 取り付け。 公園樹は常日頃目にし身近な樹木でありなが 団地内ニヵ所の その後、 最初に石神園 数人が組に 公園の プレー プレ な 樹 板

なことでも自ら 参加し地元のこ ハッキリとその ゃ たこ

手分けして樹木にプレートを付ける

に対してより親種名が分り樹木 とと思う。 又、ささ みが増し

とは地域への一とに関わったこ

ことと思います。

は地域の人々

れあいサロ

感を促進した

故か、 ン」は熱心な世話 の「ふれあいサロ 全体で推進されて 人の方々の存在の る活動で、 策として牛久市 交流を促進 でする



内容:

ಠ್ಠ 何回も実施してい 出前講座も過去に 発で当サロンへの ヘイケボタル

観察。 るのは何よりのことと思われます。 このような主旨のサロン活動に出前講座が貢献でき の観察会・身近な自然観察会としての地元斜面 市のバスを利用しての観察の森見学会など。 林の

# 南部の自然を守る会

阿部 幸浩

この田んぼやそのまわりにみられる豊かな自然は、 多くの生きものたちの生息場所にもなっています。 るお米の生産の場であると同時に、 て成り立っています。 農家のみなさんによる米づくりが営まれることによっ 農業用の水路や田んぼなどは、 田 んぽの生きもの調査」実施について 私たちの主食であ 魚やカエルなど

本年度は次のとおり実施しますので、会員のみなさ 心に田んぼのまわりの生き物調査を実施しています。 ま是非ご参加ください (申込み不要)。 南部の自然を守る会」では、 うしく里山の会が構成団体として加わっている 昨年度から本会を中

> 日時等:七月十日(土)九時~十一 集合場所:成井公会堂(牛久市城中町) (小雨決行、雨天中止)対象:会員及び家族 (顔合わせ後、 車で田んぼに移動)

えます 生き物調 査 魚 カエルなど、 捕まえた数を数

環境調査(捕まえた場所の水温や水質を計り ま

す

持ち物:長靴、 汚れてもよい服装

生き物調査後、 ま ホタル観察会に向けて、 ਰ ਫ਼ こちらもよろしればご参加ください 後日「自然観察出前講座」 農道沿いの草刈りを行 で行う L١

( 十三時終了予定



- 「田んぼの生きもの調査こどもマニュアル」より

## 運営委員会からのお知らせ

坂 弘毅

りました。そして自然界は夏バージョンに入ります。 ヤメ園のハナショウブなど、多くの人の興味をそそ 五月のフクロウの巣立ち、六月のゲンジボタル、ア (今後の予定) 初 夏の大きなイベントも滞りなく終了しまし た。

三.ひたち野うしく七タフェスタに協力します。 二.牛久市南部の「田んぼの生きもの調査」を行い ・うしくの里山フォトコンテスト。 ま す。 き、七月より募集開始します。 (七月十日九時成井公会堂) (上記参照) (左記参照) 昨年に引き続

兀 五 まつり合同展に出展します。 ・うしくみらいエコフェスタ・うしくくらし環境 ・うしくかっぱ祭り遊びの広場に出展します。 (七月三十一日~八月一日)

(七月四日ひたち野うしく駅周辺)

六 . 各プロジェクト責任者、会計担当へ 活動で使用する領収書の宛名は NPO法人うしく里山の会」としてください。 ( 八月二十二日 下根運動公園

### うしくの里山フォトコンテスト **実行行委員会事務局**

阿部幸浩

ま す。 「うしくの里山フォトコンテスト」を開催し イメージ(写真+撮影者の想い)を募集する 応募ください。 会員のみなさまも参加できますのでご 市民が大切にしたいと思っている里山

ださい。 がら行います。 園者による一般投票、 実行委員会が行う一次審査や、 【実行委員を募集します】 興味のある方はお気軽にご連絡く 表彰式の開催など楽しみな (対象:会員) その後観察の森



### 結束町みどりの保全区 齊藤

# エコアップ作戦

### うしく里山の会全体事業 結束町みどりの保全区エコアップ作戦 参加者募集のお知らせ

では、 と、下草 理作業を行う「エコアップ作戦」 みどりの保全区」の森林維持管 処 森に隣接する「牛久市結束町 久市 /理等を行なっています。活下草刈りや除間伐、風倒木 地 域の皆さんの協力のも



結束町の牛久自然観察

七月の活動日時

加お待ちしています。

|には会員・一般問わず参加出来ます。

皆様のご

七月二日(金) 七月十八日(日) 午後一時~ 午前九時~ 十一時三〇分 三時三〇分

牛久自然観察の森ネイチャー センター 階倉庫前 (予約不要)

刈払機・チェーンソー 使用は資格所有者のみ。 八月の活動はお休みとなります。 荒天時は中止 長靴、 軍手 (長袖、 ホームペー ジに情報掲載) 長ズボンで

(問い合わせ先) 029-874-6600

担当:石神



齊藤 孝

# 新職員・三ヶ月の研修を終えて

展示製作等の準備に集中している所です。 尾の三名の新人研修期間 (三ヶ月)が無事終了しま した。三名は現在、 四月からレンジャーに加わった、 夏休みの多客期を前に、 大作、 木谷、 行事や

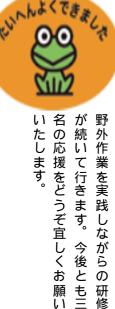
まり、 た 学校対応ガイドの打合せ準備から本番までの渉外な 研修はネイチャー センターでの接客・ 現場の業務に則した形で具体的に行なわれまし 自然観察会の計画立案や野外展示物の製作、 清掃から始

理店から講師を招き、 五月の研修会では、 ての研修会も実施しました。 また、 外部講師を招聘 保険代 「 公



ジメント」を受講、 共施設におけるリスクマネ ジメント」を受講しました。 市役所から講師を招き「ファイリング及び環境マネ 六月は

残された里山景観や谷津田の見学も行ないまし 光アヤメ園や市内小学校の見学はもちろん、 この他、 今後三名は、 施設外研修(見学)も行ない、 これまでの研修を活かして、 の担当者として行事や展示製作 牛久市観 市内に

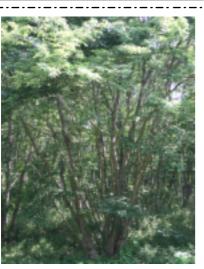


今月の古木・希少木 No.39 コナラ

同株。 長さ五~十五㎝の長楕円形で、先は な裂け目があります。葉は互生し、 よい山野に分布します。高さは十五 ほど。 ブナ科コナラ属の落葉高木。 北海道から九州の陽当たりの 樹皮は灰白色で縦に不規則

つまり、 殻斗から離れてドングリだけが落下します。 二㎝程の楕円形のドングリで、 あまり目立ちません。 雌花は新枝の上部の葉の付け根に一 葉は秋の終わりに紅葉し、 があります。 (カクト)におおわれます。葉の紅葉が始まる頃、 花期は四月~五月。 ひも状に二~九㎝ほど垂れ下がります。 葉の表面は緑色で裏面は灰白色です。 災り、 縁にはやや円みをおびた鋸歯 果実は本年内に熟し、長さ 雄花は新枝の基部に多数あ 散っていきます。 下部は杯状の殻斗 一個~三個付き、

の新緑、 たドングリは野生動物の食べ物としても大切な役 な木で、 れています。 毎の見事な色の変化にしばし癒されています。 をしています。 用途は、椎茸栽培のほだ木、 そして黄褐色の花、 雑木林の代表的な木となっています。 0て黄褐色の花、秋の紅葉など、季節小林の代表的な木となっています。春牛久市でも、写真のように最も身近 薪炭材などに使わ (石川満夫) ま



今後とも三

- 株から多数分岐したコナラ 10.5.31

### 2010年 7月 NPO法人うしく里山の会 活動カレンダー

B	月	火	水	木	金	±
				<b>1</b> アヤメ園(受) 750アヤ/園P	<b>2</b> エロアップ 作戦 9,00NC	3 親子農業体験講座 9.00畑(雨天10日) (会報等原稿》切)
4 巨木リサーチ2(特 830市役所保建セ育	5 (水園日) アヤメ園(受) 7.50アヤメ園P	<b>6</b> 森 <i>の</i> 畑 9:30畑	<b>7</b> 巨木リサーチ2(特 900ボランティアC前	8 アヤメ園(受) 750アヤメ園P	9 自然観察出前講座 夜間	10 里山自然観察隊 9 00得月院の 南部の自然を守る会 900成并公会堂 自然観察出前講座 夜間
11 雑木林応援隊 9 のムジナ	12 (株園日) アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	<b>13</b> 森 <i>の</i> 畑 9:30畑	14	<b>15</b> アヤメ園(受) 750アヤメ園 P	16	17 親子農業体験講座 9 00畑
18 運営委員会9.0 ONC エコアップ 作戦 13:00NC	19 (海の日) アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	20 森の畑 9:30畑 チーム'街路樹20(受 8:30市役所玄関 (巡回管理)	21	<b>22</b> アヤメ園(受) 750アヤ/園P	23	24 巨木リサーチ2 特 830市役所玄関前 親子農業体験講座 9.00畑 チム・街路樹20受 13:00市ボランティアC 交流会
25 維木林応援隊 9 00炭屋	26 (株園日) アヤメ園 (受) 7:50アヤメ園 P	27 森の畑 9.30畑 会報発送 13.00NC	28	29 アヤメ園(受) 750アヤメ園P	30	31

活動日は天候等により変更 となる場合がありますので、最 新情報はホームページ(トップ ページのお知らせ欄)をご確認

### 【凡.例

森:牛久自然観察の森 NC: 牛久自然観察の森ネイチャー -センター P: 牛久自然観察の森駐車場 炭小屋: 牛久自然観察の森駐車場奥の炭小屋 畑: 牛久自然観察の森駐車場奥の畑 コジュケイ: 牛久自然観察の森内コジュケイの ... 観察舎畑:牛久自然観察の森内観察舎前の畑

ムジナ: 結束町の雑木林(通称ムジナの里)

市役所: 牛久市役所本庁舎 ボランティアC:牛久市ボランティア 市民活動センタ

中央生涯(:牛久市中央生涯学習センター

アヤメ園:三日月橋観光アヤメ園

(休園日):牛久自然観察の森休園日 (受):受託事業 (特):特別事業



### 菖蒲 速調 がき れ ? の 花 れ しし

格的な梅雨に に映り、 入りまし アマガエル た。 の鳴き声 雨 の中紫陽花 もうれし 花

を参考にして頂ければと思います。 文字数にして約二五〇文字になりま

うに聞こえます。 ニホンアマガエル」 ニコニコしているようでした。 前 筋 から目 べてみました。 足 に四 アマガエル?」 に緑色のアマガエル [本後足に五本の指が • 耳にかけ ア ヤメ園で作業をしてい (アマガエル て褐色の太い帯 そ れとも「アオガエル? がちょ あり、 こう書い こんとの 科 吸盤があっ が 通っ ると、 つ て て て

١١

て

花 そ

しし

<u>-</u>ペー 写真一 ・ジ以降 ジ 枚 + 巻頭 原 の場 稿文字数 (七〇〇一八〇〇文字)

シ ョ

る

程度調整は可能です。 ン等によって幅がでま

(写真一枚のスペー

スは

<u>ਰ</u>

過

去

の

会

の数字を標

準

غ

ます

が、

写真の大きさ・キャ

ブ

す。

文字数等につい

ては

一段の場合

写真

枚+原稿(九〇〇~一〇〇〇)

段の場合

写

真

枚

+

原稿

四

IOO~

兀

五〇

うございます。 させて頂きます。 ペー

### 編集委員からのお願

## しり

員の 用の原稿サイズについ 皆さんには会報作成にご協 掲載する原稿のサイズについ て 力頂 き あ て再 IJ が 確

### 広報委員会からのお 知らせ

て樹上

での生活に適応し

てい

ಠ್ಠ

ヒキガ

エル

類に

近

L١

皮膚から若干

· の毒

を分泌する。

シュ

レレ

ゲルア

゙゙オガエル」

(アオガエル科)

褐色

の線はない。

ということでした。

佐藤輝

雄記

色

を

帯

びることもある。

鼻筋から目 緑色してい

•

耳にかけ

て

の

固

有

種

で、

背中はな

るが保護色で

次号2010年8月号の発送は7月27日(火)午後1時からです。お手伝いいただける方はネーチャー センターまでお越しください。(尚、発送日·時間につきましては都合により変更する場合がありますの で事前に御確認いただければと思います)よろしくお願いいたします。